

折に触れ 四字熟語

NO. 136 〔活火激発〕 かつか げきはつ

- < 意味 > すさまじい炎が激しく起こること。火山のような激しい炎が爆発的にわき起こること。
- 用 例 : 時を要するは此の導火線の準備にこそあらめ。活火激発の機は必ず瞬時ならざるに可らず、
いないな其の瞬時ならん事こそ、かえりて貴からめ。<島崎藤村・春>
- 語 釈 : 「活火」は火が盛んに燃えているさま。「激発」は物事が突発的に激しく起こること。
- 一 言 : オーストラリアでの火災は、収まるどころかますます拡大しているとニュースが伝えています。もともと乾燥が激しい気候の国と聞いていますが、原因の一つには地球温暖化もあるのではないかと観られています。雨や雪が多くて多湿な気候の日本ではあれほどの大火は起きないのではないかとも思いますが、他人事とせず、地球温暖化防止のために何ができるのか考えを巡らせています。

参照文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」